

れいめい羽島協議会（いちき串木野市）

「つながり」から地域課題を解決！～黎明の地～



薩摩藩英国留学生記念館

地区概要

市街地の北西約9km、車で15分の場所に位置し、歴史や史跡を数多く有する地区。漁業と農業が同居する生活形態が多い。薩摩藩英国留学生在が慶応元年に英国に向け出航した「黎明の地」である。薩摩藩英国留学生記念館の開館により、交流人口を増やすために、観光振興にも力を入れている。

コミプラ設立の経緯

きっかけは、少子高齢化や、地域の小学校の閉校（H22.3土川小）を契機に、地域課題及び地域活性化に協働して取り組む必要性が生じたこと。市のまちづくり協議会設置補助や自治基本条例制定などの動きを受けて、コミプラ設置

の検討が始まり、地域の話し合い活動を経て設立に至った。

コミプラ設立前は、各公民館長や小中学校の校長、PTA、駐在所で組織された団体があり、年に2～3回、審議委員会という場で意見交換をするなど活動を行っていたことから、団体のベースや世代間のつながりがあったため、設立準備はスムーズに進んだ。8つの専門部会（自治部会・婦人部会・青少年育成部会・保健体育部会・健康福祉部会・観光部会・総務企画部会・自動車部会）を設けて、それぞれの部会で活動を実施している。

令和4年度には「第3期羽島地区まちづくり計画」を策定した。

特徴的な活動

①「どらっ！一緒に行こかい」羽島フレンドカー

市街地から離れている羽島地域において、移動手段を持たない高齢者を助ける取組。週に3回程度、協議会の自動車部会によって行われており、予約制である。主に病院、買い物、健康体操への送迎のほか、地域行事への参加にも利用されている。利用者の人数は30名ほどで、運転手は現在5名。利用している車は、市から貸与を受けている。利用料金はガソリン代実費程度。

公共交通機関の運行数の減少による地域住民の移動難を解消しているとともに、地域住民同士のつながりをつくりだしている。利用実績も年々増えており、R4年度は400人を超える勢いとなっている。



フレンドカーでの送迎

②一歩踏み込む！積極的な空き家対策

市や地域住民からの情報を基に空き家を把握し、地区への移住希望者を対象に空き家の紹介を行っている。単に空き家への移住あっせんだけでなくとどまらず、空き家に放置された不用品の廃棄可否や、廃棄作業をする人への当日について家主と協議する等、一歩踏み込んだ空き家対策を行っており、廃棄や清掃作業は、青壮年部や婦人部等が協力し実施している。

また、羽島地区にはお試しハウスがあり、移住前に一定期間住むことによって移住後の生活を想像することができる。

本事業により、スピード感のある移住が可能となり、現在までに10戸（大人12人、子ども6人）が移住。羽島に新たな人呼び込み、活気を持たせている活動となっている。



移住お試しハウス

今後の展望（コミプラの声）

フレンドカーが、現在一番地域住民に喜ばれている事業であり、利用も急速に伸びているが、運転手の確保に加え、特に病院受診については拘束時間が長いため、運転手の負担となっている面がある。事業継続のためにも、今後、運転手の負担の軽減を図れるような工夫を検討していかなければならないと考えている。

いちき串木野市から一言

フレンドカー、空き家対策などは、今後の人口減少社会において地域コミュニティ維持のために重要な役割を担うものであり、また真に地元から必要とされている事業と考えています。市としては、羽島地区の取り組みを市内の各地域に広げていくことで、今後の人口減少社会においても、地域の活性化、共生・協働のまちづくりの推進につなげたいと考えています。

利用した補助金など

- ・地区まちづくり協議会運営補助金（市）（H24年度～）
- ・地区まちづくり計画事業補助金（ソフト事業・ハード事業）（市）（H24年度～）



れいめい羽島協議会

PASSION

空き家対策も工夫次第で 一歩踏み込める！